

Corporate Profile

会社案内

世界中の働く人を応援する企業

株式会社 **自重堂**

www.jichodo.co.jp

目次

ごあいさつ	P.03
企業理念の歴史	P.04
企業理念	P.05
理念体系	P.06
企業活動	P.07
会社概要	P.09
役員紹介	P.10
組織図	P.11
沿革	P.12
CSR・環境への取り組み	P.13
ISO14001の取得	P.14
一般事業主行動計画への取り組み	P.15
取り扱いブランド	P.17

ごあいさつ

私たち自重堂は“「働く人の安全・安心・快適・満足」を商品化し、世界中の働く人を応援する”の基本理念のもと、“ものづくり”を通じて世界中の働く人を応援し、豊かな生活と、社会や経済を支える企業の発展に貢献し続けてまいりました。

新型コロナウイルス感染症への各種対策が進み、“ものづくり”も新たな時代を迎えるなか、私たち自重堂は、ワークウェアとしての機能性とデザイン性を兼ね備え、かつ、価格訴求力のある「働く人を応援する」新たな商品開発をより一層強化し、積極的に市場開拓に注力し、植物由来のPET繊維を使用した環境配慮型商品などSDGs対応商品を積極的にPRし、業績の向上に努めてまいります。

また、グローバルな経営環境の変化に対応し、企業価値の持続的な向上をより一層強化するため「JICHODO SDGs SPIRIT」を立ち上げ、SDGsをはじめとした社会課題の解決に積極的に取り組み、社会から支持される企業として、企業価値の向上を図ってまいります。

これからも全てのステークホルダーの皆様へ信頼される企業であり続けるため、さまざまな課題にスピーディーに取り組むとともに、役職員一同、心を一つにして改革を推し進め、事業の更なる発展、業績の向上、企業理念の実現と社会課題の解決に全力を傾注してまいります。

皆様には何卒、引き続きのご支援、ご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役社長 出原正貴



代表取締役社長 出原正貴

1924年9月14日「自重堂創業の日」

創業者 出原安太郎は、社名に自戒の意を込め“自重”の二文字を盛り込んだ「合名会社自重堂」を1924年(大正13年)9月14日に創業しました。創業当時の日本は、経済恐慌や関東大震災に見舞われるなど多難な時期であり、そのような時代背景の中、自重堂は作業服・学生服用小倉地の製織を開始しました。出原安太郎は、創業当初より「一貫体制による仕立販売」という未来の構図を描き、“積極進取”の精神のもと目標に向かい挑戦を続け、製織から縫製加工、そして既製服の販売へと着実に事業領域の拡大を進め、現在の自重堂の礎を築きました。

以来、“自重”と“積極進取”という創業の精神は、伝統と共に今日まで受け継がれ、自重堂の発展を根底から支え続けています。

1994年9月14日「創業70周年」

創業から時代の変遷を経る中で、自重堂は1960年(昭和35年)7月1日に「株式会社」へと組織を変更し、営業・生産体制の合理化と徹底した商品供給力の強化を図ってまいりました。1970年代のアパレル業界では、商品を代理店や小売店がストックする“ディーラーストック”が常道であった中、当時、専務取締役であった出原群三(後の第5代社長)は、業界に先駆けて“メーカーストック・即納体制”による商品備蓄配送システムを構築し、そして、ワーキングウエアにおけるブランド確立など、それまでの常識にとらわれない“積極進取”の経営により、売上を飛躍的に拡大させました。

そして、第5代社長に就任した出原群三は、1994年(平成6年)創業70周年の年において、念願の株式上場を果たすと共に、コーポレート・アイデンティティ(CI)の導入により「自重堂の心」「経営の姿」「行動指針」を制定し、以来、企業理念の浸透と更なる企業価値の向上に努めてまいりました。

2014年9月14日「第2の創業の日」

株式上場、コーポレート・アイデンティティの導入から20年、少子高齢化社会の進行、産業・経済活動のグローバル化など、当社を取り巻く経営環境は大きく変化し、従来型ビジネスモデルからの転換期を迎えました。そのため、新たな経営戦略を策定し、その経営戦略に則ったコーポレート・アイデンティティの構築が必要となりました。

今後どのような経営環境の変化にも対応し、企業の社会的責任を果たすと共に、持続的な成長・発展を遂げるためには「確固たる理念を持って企業活動を展開し、挑戦し続けなければならない」との認識に立ち、創立90周年である2014年9月14日を「第2の創業の日」と制定いたしました。

自重堂は「第2の創業の日」を起点とし、150周年、200周年に向けて、グローバルな経営戦略の実践、そして、新しい価値を創造し続ける企業『グローバル・イノベーションカンパニー』を目指します。

『グローバル・イノベーションカンパニー』へと成長するには、事業領域・業務のグローバル化のみならず、社員自身もグローバル化(人種・考え方・社風など)する必要があります。“自らが変わる”“会社が変わる”“社員自身が変わる・変えていく”ことに企業・社員が挑戦していかなければなりません。そのためには、社員の意識・行動、企業の存在意義・責任を明確にする必要があると考え、創業からの精神・理念を踏襲しつつ、新たに『自重堂企業理念』を策定いたしました。

株式会社 自重堂
代表取締役社長 出原正貴

創業の精神

「自重」と「積極進取」

自重堂の心

「衣」の夢づくり暮らしづくり



第2の創業スローガン

もっと、いい商品をつくろう！
そして、たくさん、きちんと売ろう！

創業の精神

「自重」と「積極進取」

自重堂の心

「衣」の夢づくり暮らしづくり

基本理念
(MISSION)

「働く人の安全・安心・快適・満足」を商品化し、
世界中の働く人を応援する

経営
VISION

「世界中の働く人を応援する
グローバル・イノベーションカンパニー」

経営指針

- ◇ 時代に挑戦する経営
- ◇ 満足の提供を追求する経営
- ◇ 人を大切にする経営

行動指針

1. 実行あるのみ！「すぐやる・必ずやる・出来るまでやる」
2. ONE FOR ALL , ALL FOR ONE
(一人は皆のために、皆は一人のために)
3. 全員が顧客に向かって仕事をする
4. 計画性をもって仕事にあたる
5. 創意と工夫によって問題を解決する
6. 最後まで責任をもって仕事をやりぬく
7. いつも会社全体を考えて行動する

「働く人の安全・安心・快適・満足」を商品化

日々の営業活動においてお客様のニーズをくみ上げ、働く人に安全・安心・快適・満足を提供する商品の開発に努めています。

ユニフォームにおいては、年2回、春夏、秋冬のシーズンごとに新商品を発表し、本社・東京支店・大阪支店の常設ショールームで

展示会を開催しています。展示会でお客様から頂いたご意見は、

次回の商品開発にフィードバックし、商品の質的レベルアップを図っています。



圧倒的な備蓄力で商品フォロー

お客様のご注文に対し1点でも不足すれば「ユニフォーム＝制服」とは言えません。自重堂では、お客様のご注文に対し不足することなく納期どおりにご納品できるよう、商品を備蓄し、在庫管理・生産管理を徹底しています。また、午前中に頂いたご注文はその日のうちに発送できる体制を整えています。



よりよい商品を提供するために 品質管理体制の強化

よりよい商品を適正価格でお客様にご提供することはメーカーの使命です。自重堂においては、短納期を要求される特別サイズのご注文などは国内のグループ工場などで対応し、納期短縮を図っています。また、技術指導員が定期的に海外協力工場を訪問して現地作業員に対し技術指導を行い、品質の維持・向上と納期管理に努めています。



お客様に信頼される企業であるために 東証スタンダード市場上場

自重堂は2000年3月に東京証券取引所市場第二部に株式を上場し、2022年4月4日に市場再編によりスタンダード市場に移行いたしました。上場企業として、四半期ごとの決算情報の開示など適正な情報開示を行っています。お客様に信頼される企業であり続けるために、引き続きガバナンス体制の強化に努めてまいります。

広告宣伝でも業界をリード

業界に先駆けて放映されたTVCFは、ユニフォームメーカーとしては初めての事で、当時、業界内外に大きな驚きを持って迎えられました。TVや全国誌への宣伝活動は、全国の得意先への強力な販売サポートになり、業界の地位向上と活性化にも寄与しました。

それぞれイメージビジュアルを作成し、雑誌広告、交通広告、店頭販促、イベント協賛、WEBプロモーションなど大々的にキャンペーンを実施し、クロスメディア展開いたします。

・Jichodo広告



・Jawin広告



・Z-DRAGON広告



会社情報

商号	株式会社 自重堂 (英表記) JICHODO Co., Ltd.
創業	大正13年9月14日
設立	昭和35年7月1日
資本金	2,982,499,656円
代表者	代表取締役社長 出原正貴
発行済株式総数	2,882,848株
株主数	6,620名(2026年6月末現在)
従業員数	179名(連結)
主な事業内容	ユニフォーム・メンズカジュアル・医療用白衣・セーフティシューズの企画・製造・販売
事業所	本社 〒729-3193 広島県福山市新市町大字戸手16-2 TOC(トータル・オペレーション・センター) 〒720-2103 広島県福山市神辺町大字西中条1295 東京支店 〒108-0022 東京都港区海岸3-3-15 自重堂ビル 大阪支店 〒541-0046 大阪市中央区平野町 2-4-9 淀屋橋PREX 3F 技術開発センター 〒729-3102 広島県福山市新市町大字相方278-1
関係会社	子会社 (株)玄海ソーイング、(株)ライオン屋
協力工場	国内 約10工場、海外 約100工場
主要素材メーカー	日清紡テキスタイル(株)、TAフロンティア(株)、倉敷紡績(株)、シキボウ(株)、東レ(株)、東洋紡せんい(株)、サカイオーベックス(株)(順不同)
主要仕入先	伊藤忠商事(株)、東レアルファート(株)蝶理(株)、(株)空調服、(株)リブレ(順不同)
主要販売先	(株)ワークマン、その他全国有力量販店、有力納入問屋、有力総合問屋、ホームセンター、ユニフォームショップ(順不同)
取引銀行	広島銀行、三菱UFJ銀行、三菱UFJ信託銀行、みずほ銀行

取締役

(2026年9月29日現在)

地位	氏名	担当
代表取締役社長	出原正貴	営業本部本部長 兼 商品本部本部長 兼 ユニフォーム事業部事業部長
取締役	出原正博	業務本部本部長
取締役	武田裕明	業務本部副本部長 兼 経営戦略部部長
取締役	入交佐和	
取締役	宇都さふか	
取締役	渡辺章子	

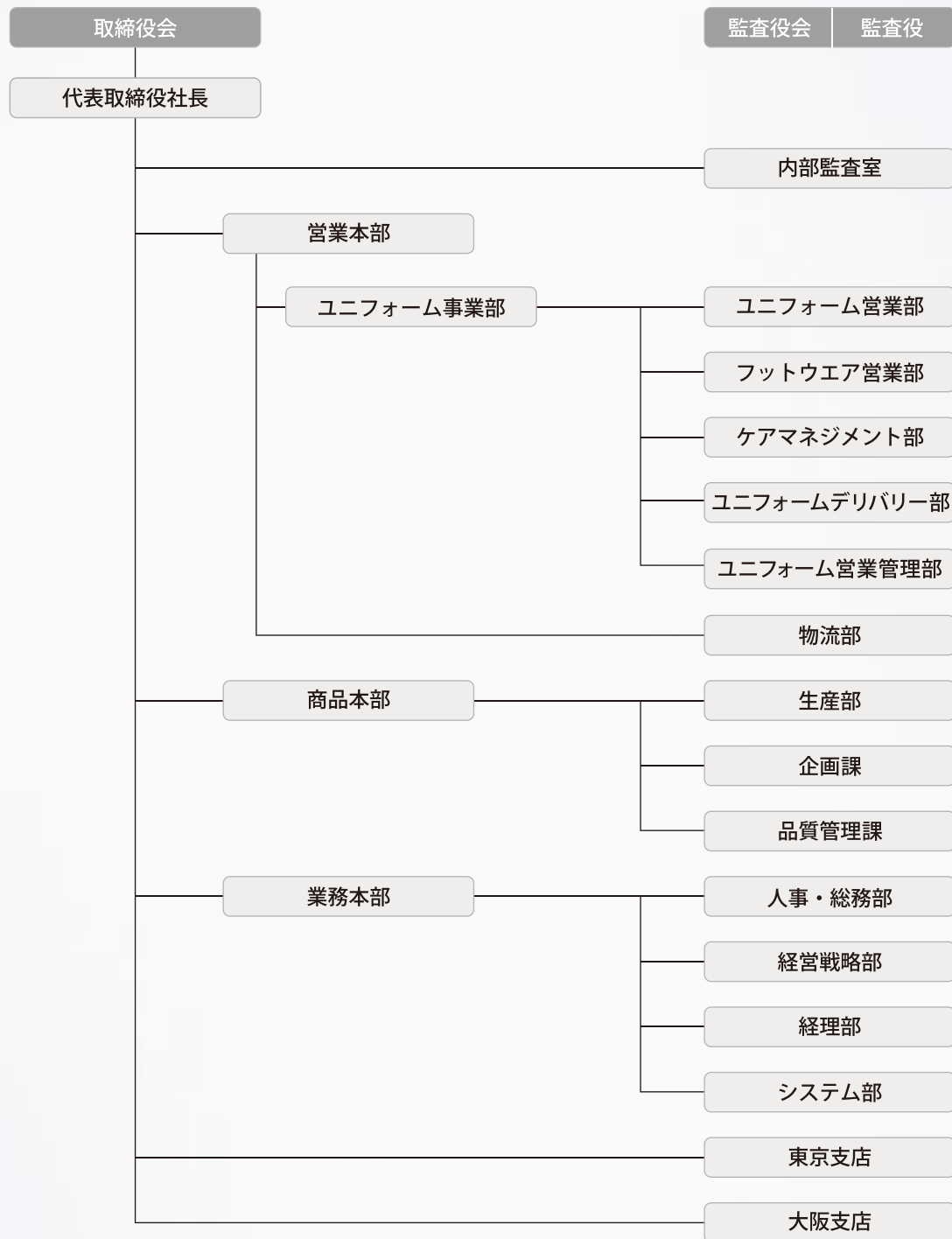
(注) 取締役 入交佐和氏、宇都さふか氏及び渡辺章子氏は、社外取締役であります。

監査役

(2024年9月27日現在)

地位	氏名	主な職業
常勤監査役	木村寿宏	
監査役	寺岡 慧	医師
監査役	石久保善之	公認会計士

(注) 監査役 寺岡 慧氏及び石久保善之氏は、社外監査役であります。



大正13年9月	出原安太郎が広島県芦品郡新市町に9月14日、合名会社自重堂を設立し、作業服、学生服用小倉地の製織を開始。
昭和30年6月	学生服の製造販売を中止し、メンズウェア部門へ進出。
昭和35年7月	株式会社自重堂（資本金8,000千円）を設立。
昭和43年1月	メンズスラックスの量販店向け販路拡大を図るため、東京都世田谷区に東京出張所を開設。 （昭和46年7月東京支店に昇格し、東京都品川区へ移転）
昭和44年10月	長崎県松浦市に松浦工場を設置。（平成18年11月、株式会社玄海ソーイングに統合。）
昭和47年7月	大阪市東区（現中央区）に大阪営業所を開設。（昭和50年7月大阪支店に昇格）
昭和54年3月	長崎県北松浦郡福島町（現松浦市）に子会社、株式会社玄海ソーイングを設立。 （平成18年11月、松浦工場を統合し、長崎県松浦市に移転。）
昭和55年7月	本社社屋及び物流センター完成。
昭和58年7月	広島県芦品郡新市町に新市工場を設置。 （平成6年2月、生産活動中止。技術開発センターに組織変更。）
平成2年6月	タイ、バンコック近郊に関連会社としてタイ自重堂株式会社を設立。（平成15年11月、売却。）
平成4年3月	広島県深安郡神辺町に物流センター （TOSセンター（現TOC（トータル・オペレーション・センター）））設置。
平成6年2月	広島証券取引所に株式を上場。（平成12年3月、東京証券取引所と合併。）
平成6年7月	CIを導入。
平成6年12月	海外生産体制強化のため中国江蘇省に子会社、昆山自重堂時装有限公司を設立。 （平成20年6月、持分を全て売却。）
平成7年2月	大阪証券取引所市場第二部に株式を上場。（平成19年12月、上場廃止。）
平成7年4月	福利厚生施設として、広島県芦品郡新市町にふれあいセンター（研修センター）を設置。
平成9年9月	広島県深安郡神辺町に子会社、株式会社ジェイアイディを設立。 （令和3年7月、株式会社自重堂に吸収合併。）
平成10年5月	新本社ビル完成。
平成10年11月	東京都港区に東京支店ビルを完成し、12月に東京支店を移転。
平成11年7月	医療用白衣の製造販売を開始。
平成11年8月	本社/技術開発センターにおいて、ISO14001規格の認証を取得。
平成12年3月	東京証券取引所市場第二部に株式を上場。 （令和4年4月、市場再編によりスタンダード市場に移行。）
平成13年10月	リサイクル推進協議会会長賞受賞。
平成16年7月	大阪市中央区南船場のビルを購入し、9月に大阪支店を移転。
平成17年1月	セーフティシューズの製造販売を開始。
平成27年7月	企業理念・CIを刷新。

（注）芦品郡新市町、深安郡神辺町は、福山市との合併で、現在、福山市新市町、福山市神辺町になっています。

基本理念である“「働く人の安全・安心・快適・満足」を商品化し、世界中の働く人を応援する”に沿って、CSRおよび地球環境保全に取り組んでいきます。

CSR報告書

CSRおよび地球環境保全への取り組み状況と成果を記したCSR報告書を公開しております。

環境スローガン

私達は、明日の地球環境のために何をなすべきかを考え行動します。

環境基本理念

株式会社自重堂は、“「働く人の安全・安心・快適・満足」を商品化し、世界中の働く人を応援する”の基本理念のもと、“ものづくり”を通じて世界中の働く人を応援し、豊かな生活と、社会や経済を支える企業の発展に貢献し続けたいと考えております。

そのなかで、企業理念の実現と地球環境保全の不可分を認識し、環境影響への継続的な改善と汚染の予防に積極的に取り組み、地域社会・アパレル業界・地球環境への貢献を目指します。

環境行動指針

1. 環境目的及び数値目標を設定し、実施計画を計画的に実行します。更に、活動の実施状況と結果を確認し、年1回以上の見直しを行うことにより、継続的な改善と汚染の予防に努めます。
2. 環境関連の法規制、地域との協定及び当事業所が同意する業界その他の要求事項の順守に努めます。
3. 環境方針を当事業所で働く、又は当事業所のために働く全ての人への配布を実施し、環境意識の向上に努めます。
4. 一般の人の要求に応じ、環境方針を開示又は配布します。

環境活動内容

1. 環境負荷を考慮した商品の企画設計・販売促進を行うとともに、使用済商品の回収・再資源化のシステム構築推進に努めます。
●環境に配慮した商品の企画設計・販売促進。 ●商品回収再資源化システムの構築。
2. 事業活動において、省資源を徹底し、特に紙資源の使用量と廃棄量の削減及び商品の加工段階で発生する廃棄物の削減に努めます。
●紙、ダンボール、商品カタログ、繊維屑などの削減。 ●不良品の削減。 ●グリーン調達の促進。

自重堂がめざすのは「グローバル・スタンダード」。国際標準化を目標に、平成11年8月、自重堂はワーキングユニフォーム業界初の「ISO14001」規格認証を取得しました。

ISO14001の取得をめざして 全社員一丸となった取り組み。

平成10年7月、15名による「ISO取得プロジェクト」を組織し、取得に向けて活動を開始しました。当初の4カ月は初期調査の時期として、ISO14001規格を導入するサイト（敷地）について、環境に与えるような要素としてどのようなものがあるのかを事前調査をして実態を把握しました。

その後、拾い出した環境側面に対して、各部門それぞれが目標達成のためのプログラムを立案し実施。各部門では、従業員の自覚と能力を高める教育や訓練を行いながら、目標に向けての具体的な取り組みを開始しました。

例えば、企画部門ではユニフォームの回収～再資源化や表示ラベルの縮小化に取り組みました。生産部門では協力工場の残布の処理などにも配慮しました。物流部門ではダンボールケースの再利用を徹底しました。全社的には、社員ひとり一人が「紙」の再利用を推進し、リサイクルできるものは業者に回収と再利用をお願いしました。

こうして全社員が一丸となってISO取得に取り組み、平成11年8月に、本社ビル、物流センター、技術開発センターの3つのサイトで「ISO14001」規格認証を取得しました。取得後も、内部監査員による定期監査を実施し、継続的な改善を行っています。



本社／技術開発センター

持続可能な社会を目指した 「再生ユニフォーム」の生産。

持続可能な社会・環境の目標であるSDGs（持続可能な開発目標）の内容も踏まえて、自重堂では、回収したペットボトルをポリエステル繊維にリサイクルした素材を使用した環境配慮型のユニフォームを生産、製品化することにより、サステナブルな社会構築の一役を担います。

一般事業主行動計画(次世代育成支援対策推進法・女性活躍推進法 一体型)

男女の雇用環境を整備し、女性社員の更なる活躍を支援するため、次の通り行動計画を策定する。

1. 計画期間

令和8年4月1日から令和13年3月31日までの5年間

2. 内容

目標1

女性社員の育児休業の取得率を100%とし、これを維持する。
【次世代・女活】

【対策】

- ・男性の育児休業取得を促進するための育児休業取得事例の共有や社内周知を実施し、取得しやすい職場風土づくりを進める。
- ・育児休業に関する規程の整備、労働者の育児休業中における待遇及び育児休業後の労働条件に関する事項についての周知を行う。
- ・育児・介護休業法に基づく育児休業、雇用保険法に基づく育児休業給付、労働基準法に基づく産前産後休業など諸制度の周知を行う。

目標2

所定外労働時間をゼロとする。
【次世代・女活】

【対策】

- ・時間外・休日労働の削減のための業務の見直しおよび効率化の措置の実施を行う。

目標3

管理職に占める女性労働者の割合を30%以上とし、これを維持する。
【女活】

【対策】

- ・利用可能な両立支援制度に関する労働者・管理職への周知徹底を行う。

一般事業主行動計画(次世代育成支援対策推進法・女性活躍推進法 一体型)に対する実績

1. 対象期間

令和7年4月1日から令和8年3月31日までの1年間(計画期間5年目)

2. 内容

目標1

採用者に占める女性の割合を50%以上とし、これを維持する。
【女活】

【実績】

- ・正社員:対象期間中の採用者11名(内、男性6名、女性5名)、女性の割合は45%
- ・パート社員:対象期間中の採用者33名(内、男性10名、女性23名)、女性の割合は69%

目標2

女性社員の育児休業の取得率を100%とし、これを維持する。
【次世代・女活】

【実績】

- ・正社員:対象期間において子が誕生した4名(女性4名、男性0名)に対し、
育児休業取得者は女性4名(取得率100%)、
対象期間において子が誕生した男性社員は0名のため、対象者なし
- ・パート社員:対象期間において子が誕生した1名(女性1名、男性0名)に対し、
育児休業取得者は、女性1名(取得率100%)
対象期間において子が誕生した男性パート社員は0名のため、対象者なし



Jichodo (ジチョウドウ)

ワークウェアは、働く人が長時間身に纏うことから、機能性が最も大切にされています。基幹ブランドの「Jichodo」は、創業以来の歴史の中で培ったノウハウを活かし「働く人の安全・安心・快適・満足」を商品化し、環境にも配慮した魅力ある高品質な商品を開発、提供します。



Jawin (ジャウィン)

次世代ブランドの「Jawin」は、現場で働く若い世代のワークウェアとして、また、ファッションに敏感な層からも普段着に取り入れ、愛されるカジュアルウェアとして、機能性はもとより、ファッション性を兼ね備えた、新生カジュアルワークウェアです。



Z-DRAGON (ジードラゴン)

「Z-DRAGON」(ジードラゴン)ブランドは2013年、世代や性別を超え、全てのワーカーの心を掴む「スタイリッシュ&カジュアル」ブランドとして誕生しました。様々な現場で働くワーカーの心を掴み、共に成長し続け、活躍するシーンを選ばないワークウェアが「Z-DRAGON」ブランドです。



Field Message (フィールドメッセージ)

基幹ブランドの「Jichodo」から派生したブランド。スポーツテストを取り入れたワークウェアです。ワークウェアに求められる機能性にデザイン性を加味し幅広い着用シーンで活躍します。



tomoeSAKURA (トモエサクラ)

一次・二次産業向けの現場作業服としてスタートした自重堂の原点にあたるブランド。ロングセラー商品が多い歴史あるワークウェアです。



Mr. JIC (ミスタージック)

ポロシャツやハイネックシャツ等のカットソーを中心に、作業服から防寒着まで魅力的な価格で豊富にラインアップ。コストパフォーマンスに優れた人気のブランドです。



Code Name G (コードネームジー)

高い品質と機能性はそのままに。お求めやすい価格のベーシック商品。法人様向けユニフォーム。



WHISeL (ホワイセル)

「WHISeL」は自重堂が展開する医療・福祉の現場で働く皆様のためのメディカルウェアです。モニター協力などにより、現場の声を反映させた製品化を実現しました。また、こだわりのデザインに加え、価格訴求力を追求します。



空調服®

「空調服®」は、左右の腰の辺りに取り付けられた2基の小型ファンによって、服の中に外気を取り込み、汗を蒸発させることによる気化熱で身体を冷やし、涼しく快適に過ごしていただくための商品です。

※空調服は(株)空調服のファン付きウェア、その附属品、及びこれらを示すブランドです。

※「空調服」「®空調服」「®空調服」「生理クーラー」は(株)空調服の登録商標です。



FEVER GEAR ADVANCE (フィーバーギア アドバンス)

品質・性能 アップグレード版 新登場
様々な寒い環境に対応する電熱ギア
ブランド。環境に応じて温度調節可能な
発熱体により身体を温め、過酷な寒さの
中でも快適な作業をサポートします。
発熱体内蔵型電熱ベスは最高出力時
55℃。電熱ベスは9個の発熱体付き、
3段階の温度調節が可能。



FEVER GEAR(フィーバーギア)

様々な寒い環境に対応する電熱ギア
ブランド。環境に応じて温度調節可能な
発熱体により身体を温め、過酷な寒さの
中でも快適な作業をサポートします。
電熱パッドは最高出力時55℃。
どんな衣服にも装着可能、バッテリーに
合わせて3タイプから選ぶことができ、
3〜4段階の温度調節が可能。



AI (エーアイ: Artificial Intelligence)

"A Safe Future, Shaped by AI"
AIで描く、安全な未来
AI技術の革新性と人間中心のデザイン
哲学を組み合わせ、作業服業界に
新しい基準の確立を目指しています。
安全性、快適性、環境責任を核とした
製品提供から作業者と地球環境の
両方に配慮したサステナブルなビジネス
モデルを推進します。

SAFETY SHOES

SAFETY SHOES(セーフティシューズ)

ハードに働く人達の信頼に応えるため、
衣服だけでなく安全靴を履く事により、
足元の安全性を高め、負担を解消する
オリジナル シューズ。スポーティ&
カジュアルを追求した安全靴らしくない
安全靴を提供いたします。また、デザイン性
に加え、価格訴求力を追求します。

現場のゲンさん

現場のゲンさん

様々な現場で軽快に履きこなせる
作業靴のブランド。「現場」シリーズで
続々展開予定です。

現場の涼さん

現場の涼(リョウ)さん

「現場のゲンさん」に続く、「現場」
シリーズの第二弾。
大好評の「現場」シリーズから、
涼しさを追求した作業靴が新登場。
アッパー部分が総メッシュ仕様なので、
蒸れを防ぎ爽快な履き心地です。

現場のノンマー王

現場のノンマー王(キング)

「現場の涼さん」に続く、「現場」
シリーズの第三弾。大好評の「現場」
シリーズから床に色や傷跡が付きに
くいノンマーキング仕様の作業靴が
新登場。クッション性インソール使用。

現場のニッチちゃん

現場のニッチちゃん(ニット仕様)

「現場のニッチちゃん」は、
「現場」シリーズの第四弾。
大好評の「現場」シリーズからアッパーに
ニット素材を使用したフィット感抜群の
ノンマーキング作業靴が新登場。
クッション性インソール使用。